

総合調整会議（2014.10.15）

- 日時：平成26年10月15日（水） 午後1時45分～午後3時10分
○場所：栗東市役所3階談話室
○出席者：市長、副市長、教育長、部長等

<会議内容>

1. 市長の指示事項

市長からの指示

- ・各部より事業の進捗事業等の報告をもらっているが、部別経営会議においても指示を行っているとおり、例えば、台風18号による災害復旧事業等、各部で連携して取り組まなければならない事業については、各部連携を図りながら対応すること。

2. 審議事項

【案件名】第3回栗東市総合計画審議会の提出資料について

→ 政策推進部長、元気創造政策課長、各部長から説明

- ・今回審議してもらった資料は、10月22日に開催する第3回総合計画審議会に提出する資料である。

1. 第五次栗東市総合計画前期基本計画見直し（案）について

（「基本目標1 安全・安心のまち」部分）

- ・前期基本計画（「基本目標1 安全・安心のまち」部分）にかかる部分について、各部より見直し内容を提出いただき、取りまとめを行った。この見直し（案）を後期基本計画（素案）として、総合計画審議会へ提出を行う。
- ・この内容は、各課に2回確認いただいて取りまとめを行っている。資料としては、対照表のような体裁で左側に前期基本計画の内容、右側に見直し（案）を記載している。赤字となっている部分が1回目に確認を行い修正された内容、青字の部分が2回目に確認して修正された内容である。右側が空欄になっている項目は、前期基本計画から見直さずにそのままの内容となるものである。
- ・見直しに際して、前期基本計画の時点修正を行う前提にてお願いをしており、基本事業以下を中心に見直しいただいているが、「施策のねらい」「課題認識」「施策の基本方針」についても、必要な場合はあわせて修正等をしていただいている。特に、後期基本計画策定にかかるポイントの内容と整合が図れているかについて意見をいただきたい。

■内容全般

[副市長]

- ・前期基本計画の時点修正を行うものであり、字句の修正は極力行わないことを基本的な考え方とすること。前期基本計画期間の5年間において、社会情勢等が大きく変わった場合は見直しをする必要がある。計画全体を再度見直し、後期基本計画期間の5年間について、何に力を入れていくかを強調する必要がある。

[市長]

- ・各施策における個別計画について、記載されているものとされていないものがある。確認を行うこと。

[元気創造政策課長]

- ・総合計画策定ワーキンググループにおいて、後期基本計画については、前期基本計画の時点修正を行うものであることを前提に基本事業以下の見直しを行っている。しかし、各施策における個別計画との関連性を指摘されていることから、後期基本計画には関連する個別計画名を記載していく方向で整理してほしいと説明をしている。今回は基本目標1の部分を審議会に提出していくことになるが、最終的には、再度全体を示す機会もあるので、それまでに整合性が図るように、引き続き調整を行う。

[副市長]

- ・後期基本計画策定にかかるポイントについて、新たな行政課題に記載されている項目が計画（案）に反映されているか、再度確認を行うこと。また、この課題に対して、後期基本計画期間である5年間で、どのように取り組んでいくのかを整理して落とし込んでいくこと。

■基本政策2 生涯を通じた健康づくりのまち

[副市長]

- ・学校給食共同調理場の建て替えについての記載がないのではないか。確認を行うこと。

■基本政策3 安心を支える福祉を推進するまち

[副市長]

- ・今年度策定している第2期栗東市障がい者基本計画と第4期栗東市障がい福祉計画の記載がないのではないか。確認を行うこと。

2. 第五次栗東市総合計画前期の成果指標結果一覧について

3. 第五次栗東市総合計画後期基本計画策定にかかるポイントについて

（「基本目標2 環境・創出のまち」部分）

- ・「第五次栗東市総合計画前期の成果指標結果一覧」については、各課提出の内容と総合計画策定ワーキンググループにおけるヒアリングを参考に作成している。
- ・前回示した基本目標1の資料と同様の考え方で整理しており、1ページの下段にある表は前期

成果指標全体の達成度であるが、基本目標 2 部分には 16 個の指標を設定しており、達成度が 75%以上であったものは 9 個となっている。

- ・ 2 ページの上段にある表は基本目標 2 における 16 個の指標を、基本政策ごとに 3 つに分類したものである。中段以降については、基本政策ごとの評価と課題を整理しており、最下段は基本目標 2 における総括を記載している。
- ・ 3 ページ以降は、施策ごとに設定している 16 個の指標の達成度と、それぞれ取り組み内容や実績、課題等について、各課から提出された資料に基づき、取りまとめたものである。
- ・ 総合計画審議会では、1、2 ページを主に説明し、3 ページ以降については、事前に確認いただき意見をもらう予定であり、当日は、関係する部長で意見対応をお願いしたい。
- ・ 「第五次栗東市総合計画後期基本計画策定にかかるポイント」については、施策ごとにまとめたものであり、前回示した基本目標 1 の資料と同様の考え方で整理しており、社会・経済情勢等の変化への対応や新たな行政課題、各所属個別計画における方針等との整合の 3 つの視点を記載している。総合計画審議会では、要点を説明する予定である。

4. 市民アンケート調査について

- ・ これまでの経過について、第 1 回総合計画審議会において、会長から市民アンケート調査の実施を行う指示を受けて内容等の整理を行い、市民との進行管理のあり方をどのように進めるのかという課題に対して、成果指標に基づく進行管理を前提として、施策レベルでアウトカム指標を設定し、市民とともに進行管理を行っていくことを考えている。アウトカム指標の現状値や今後の取り組みを把握するために、市民アンケート調査を実施したい。
- ・ 調査方法について、栗東市内に住んでいる 18 歳以上の方を対象に無作為で 2,000 人抽出し、11 月中旬から下旬の期間で実施していく予定である。
- ・ 今回提出する資料については、主要部分を抜き出したものとなっているが、他に回答者の属性も、調査項目を設定する予定である。この主要部分については、1 ページの中段以降の表に基本政策ごとにまとめており、太枠で囲っている部分が設問であり、これが後期基本計画の各施策における成果指標とする前提で作成している。
- ・ 前期基本計画の基本事業における取り組みの概要を記載している。これだけではわかりにくいという指摘がされる場合を想定しており、別紙により前期基本計画の取り組みについて詳細に記載をしているものをアンケートに同封する予定である。
- ・ 各設問とも 4 段階の評価で回答いただき、得られた結果を数値化して現状値を出していく。数値化の方法については現在検討中であり、進行管理のあり方も含めて整理を行い、改めて報告する。
- ・ 施策ごとの評価に加えて、基本目標ごとに重要で優先度が高いと思う施策についても、設問を設定して調査を行い、今後の重点施策の推進を図るための参考にしていきたいと考えている。

- ・設問の内容については、既に各課へ確認を行っているが、アウトカム指標を修正する必要があると聞いており、今回の案には反映できていないため、別添で整理をしている。他にも修正がある場合は、早急に報告をお願いしたい。
- ・総合計画審議会は公開を原則としていることから、会議資料についても公開することを予定している。

[副市長]

- ・設問の項目によって、大きい範囲を聞いている場合と小さい範囲を聞いている場合があり、同じレベルに整合を図る必要があるため、検討をすること。最終的に設定していくアウトカム指標については、今後5年間で具体的に推進していくために必要な判断基準となるものを、逆算して組み立てていく必要がある。

[建設部技監]

- ・4段階の項目を選ぶ場合、項目によっては「わからない」という欄を設けるべきではないか。

[教育長]

- ・そうした場合に「わからない」という意見ばかりになるのではないか。

[元気創造政策課長]

- ・最終的に数値化をした場合に、「わからない」という回答をどのようにカウントするかという課題がある。成果指標の設定を前提に質問しているため、わからない人がどれを選んだらいいのという可能性はあるが、この4項目で設定したいと考えている。

[環境経済部長]

- ・市民の方が行政の全ての分野に精通しているとは考えにくい。わからないまま回答された場合、結果の信憑性にも関係してくる。「わからない」という項目を設けるのかを含めて、どのように集計していくのか、考え方を整理する必要がある。
- ・アンケート調査を実施するならば、有効な回収数や回収率の基準などがあると思うので、事前に考え方を明確にしておく必要がある。

[元気創造政策課長]

- ・本市人口の場合、何%の回収率で有効になるというのではなく、どれだけの回答数が集まれば有効であるという基準があるので、総合計画審議会において説明を行う。また、設問の内容に幅があることについて、事務局で修正するのは難しいことから、各部や各課において修正をお願いしたい。

区分：決定

3. 報告事項

【案件名】 栗東駅周辺まちづくり基本方針（案）の策定について

→ 政策推進部長、元気創造政策課長から説明

- ・平成26年9月22日開催の総合調整会議に素案として提出し、概ねの考え方については了承いただいたが、様々な意見が出されたため、考え方等の整理を行った。
- ・上記の総合調整会議終了後、担当部長による会議を開催した。また、平成26年9月30日に開催した栗東駅周辺まちづくり検討会議において意見をいただき、最終的な基本方針（案）として取りまとめを行った。
- ・前回からの修正点は、「まちづくりの目標と施策」について、それぞれの目標の中にまちづくり施策を3つずつ明記した。施策名自体の変更は行っていない。「施策実施の具体的イメージ（アイデア）」について、中期と長期の区分がわかりにくいという指摘があったことから、中期と長期を一体化させて中長期という形で整理を行っている。「まちづくり推進プロジェクト（案）」について、前回は「関連する施策実施の具体的イメージ（アイデア）」であったが、「検討すべき施策実施の具体的イメージ（アイデア）」に記載を修正している。また、空きテナントという記載が多いという指摘については、「空きテナントの有効活用促進」という形で整理を行っている。
- ・今後の予定は、議会へ報告を行い成案化する。

区分：了解

4. 閉会

副市長からの挨拶

- ・平成26年10月22日に総合計画審議会および行政改革懇談会が開催される。会議当日、各部で適切に対応できるよう、事前準備を万全にしておくこと。

以上